

輸血検査研修会報告書
生涯教育研修会報告書
学発番号 第11-007号

平成23年6月25日報告
報告者:青山 絹子
所属:第二岡本総合病院
連絡先:0774-44-4511

行事名:カラム凝集法実技講習会
日時:2011年6月25日 13:00~17:00
場所:京都保健衛生専門学校 第3実習室
講師:バイオラッド ラボラトリーズ株式会社
診断薬事業部 カスタマーサポート部 小黒 博之氏
分類:検体検査 052-20点
全体参加人数:32人
会員参加人数:28人
京臨技のみ参加者:0人
非会員参加人数:4人

以下、講習会内容など

- ① 講義:ゲルカラム凝集法を用いた輸血検査
- ② 実技:ゲルカラム凝集法による血液型、不規則抗体検査に実技

近年、カラム法を用いた輸血検査を採用している施設も増えており、今回初めてカラム法を用いた実技講習会を企画いたしました。カラム法にはビーズカラムとゲルカラムがありますが、今回はバイオラッド・ラボラトリーズ株式会社のゲルカラム法凝集法に関する講義と実技研修が行われました。

講義は、ゲルカラム法開発の経緯と原理に始まり、従来法である試験管法と比較してのメリット、検査における注意事項に関し行われました。実技では、各参加者に検体が配布され血液型と不規則抗体検査を行いました。ピペット操作も多く多少の慣れも必要と思われましたが、試験管法と違い標準化が容易で客観的な評価が可能である点、ゲルカラムであるためカードを倒しても容易には像は崩れず保存も可能である点が判りました。

参加者のなかにはカラム法は今回初めての方、施設で採用されているが普段は全自動で行われており手動で検査は行うのは初めての方も多数ありました。これを機会に、病院でカラム法を新たに検討するきっかけになったり、原理を十分理解した上で検査を行うことで異常反応にも即座に対応できるのではないかと思います。来年度もできればこのような実技講習を行い、主流に成り

つつあるカラム法を多くの技師会員に経験していただければと思いました。

以上